

いまの世章（四帖第十通）

いまの世にあらん女人は・みなみなこころを一つにして、
阿彌陀如来をふかくたのみたてまつるべし、そのほかにはいずれの
法を信ずとも、後生のたすかるといふこと・ゆめゆめあるべから
ずとおもうべし、されば、弥陀をばなにとようにたのみ、また後生
をばなにとねがうべきぞといふに、なにのわずらいもなく、ただ一心
に弥陀をたのみ、後生たすけたまえとふかくたのみもうさん人を
ば、かならず御たすけあらんことは、さらさらつゆほども疑あるべ
からざるものなり、このうえには、はゆしかと御たすけあるべきこと
の、ありがたさよとおもいて、仏恩報謝のために、念仏申すべきばか
りなり、

あなかしこ あなかしこ

(不読) 八十三歳 御判

いまの世章の大意

今の世の女性たちは、みな一心に深く阿彌陀如来を信じる以外に、迷いの世界を出て浄土に往生する道はないと思ったださい。

それではどのように如来を信じ、往生を願うのかといえ、なにも思い迷わずに、二心なく阿彌陀如来に帰命して、おたすけくださいとおまかせするのです。如来はその人をはかならずお救いく

ださることは疑いありません。そして信心を得た後は、たしかにお救いくださるありがたさを思い、仏恩報謝の念仏を申すばかりです。